

企業等の 農業参入 ガイドブック

令和7年度版

鹿児島県は
企業等の農業参入を
支援しています



鹿児島県

企業等の農業参入ガイドブック 目次

鹿児島県農業の魅力	1
鹿児島県の豊かな農産物, 立地条件, 企業等の農業参入の状況	
農業参入までの流れ	5
ステップ1 農業参入の相談	6
ステップ2 参入目的を明確に	6
ステップ3 参入プランの作成	7
(参考)農地所有適格法人, 一般法人の農地借入に必要な条件, 各種法人の違い	
ステップ4 農地の確保	16
ステップ5 農業技術の習得	18
ステップ6 機械・施設等の整備	19
(参考)認定農業者制度, 地域計画, 農地耕作条件改善事業	
農業への参入事例	27
1 農業参入からさらに事業拡大! (株式会社オキス)	28
2 堆肥も栽培方法もこだわって, 農業を楽しむ! (株式会社エコ・スマイル)	29
3 地域と消費者にもやさしい循環型農業への挑戦! (源気ファーム株式会社)	30
4 目指すは周年収穫! テーマパーク型観光農園! (株式会社さくら農園)	31
5 建設業のノウハウを生かしつつ, 農業と2本柱で21年目に突入! (株式会社 本産業) ..	32
6 堆肥製造から6次産業化, 地域に根ざす企業へ! (クリーンベースちらん株式会社) ..	33
7 原料の自社生産で「安心・安全」な製品作り(上原産業有限公司)	34
8 「福祉と農業」を繋げ, 地域を支える! (合同会社グッドフィールド)	35
9 美味しいものを鹿児島から! 自信をもって生産・販売(岡山フードサービス株式会社) ..	36
10 地域の農家・法人と協力! 農福連携の事例(ライズ株式会社)	37
参考資料	39
1 作物カレンダー	40
2 参入企業等が活用できる主な補助事業	43
3 参入企業等が活用できる主な制度資金	56



鹿児島県農業の魅力



鹿児島県農業の魅力

豊かな農産物

全国有数の畑作地帯を有する鹿児島県では、畜産や園芸を中心に、茶やさつまいもなどの生産が盛んであり、我が国の「食料供給基地」として、地域の特性を生かした多彩な産地が形成されています。

耕種部門

全国における地位	作物名	収穫量 (t, 千球)	資料
全国 1 位	さつまいも	218,300	令和 6 年産 作物統計
	茶（荒茶）	27,000	
	さやえんどう	3,200	令和 5 年産 作物統計
	球根類	16,100	
	オクラ	5,420	令和 4 年産地域 特産野菜生産状況
	スナップえんどう	3,080	
全国 2 位	さとうきび	517,300	令和 5 年産 作物統計
	かぼちゃ	7,730	
	そらめめ	1,750	

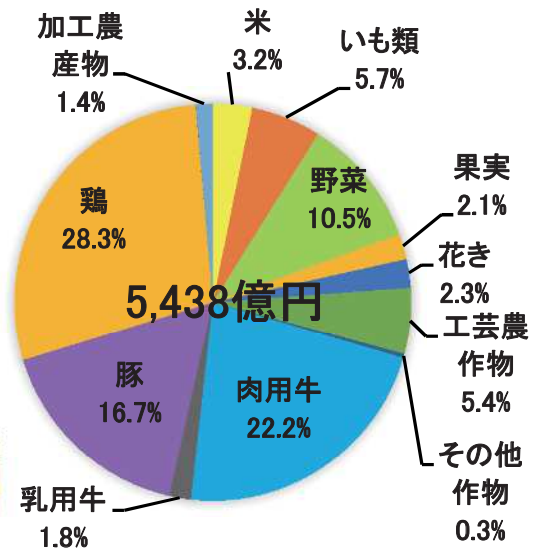
畜産部門

全国における地位	畜種名	飼養頭羽数 (頭, 千羽)	資料
全国 1 位	肉用牛（黒毛和種）	350,100	令和 6 年 畜産統計
	豚	1,200,000	
	ブロイラー	32,003	
全国 3 位	採卵鶏	10,196	

令和5年農業産出額は、5,438億円で、全国2位となっています。

部門別の構成比では、耕種29.6%、畜産69.0%、加工農産物1.4%となっています。

令和 5 年農業産出額の内訳



かごしまブランド産品



県内各地で、市場（実需者）や消費者から品質面等で一定の評価を得ている農畜産物が生産されています。

県では、県内で生産された農畜産物が市場関係者や消費者等に適正に評価され、安定的に継続して取引されるよう、生産者、関係機関・団体と一体となって、平成元年度から「かごしまブランド」確立運動を展開しています。

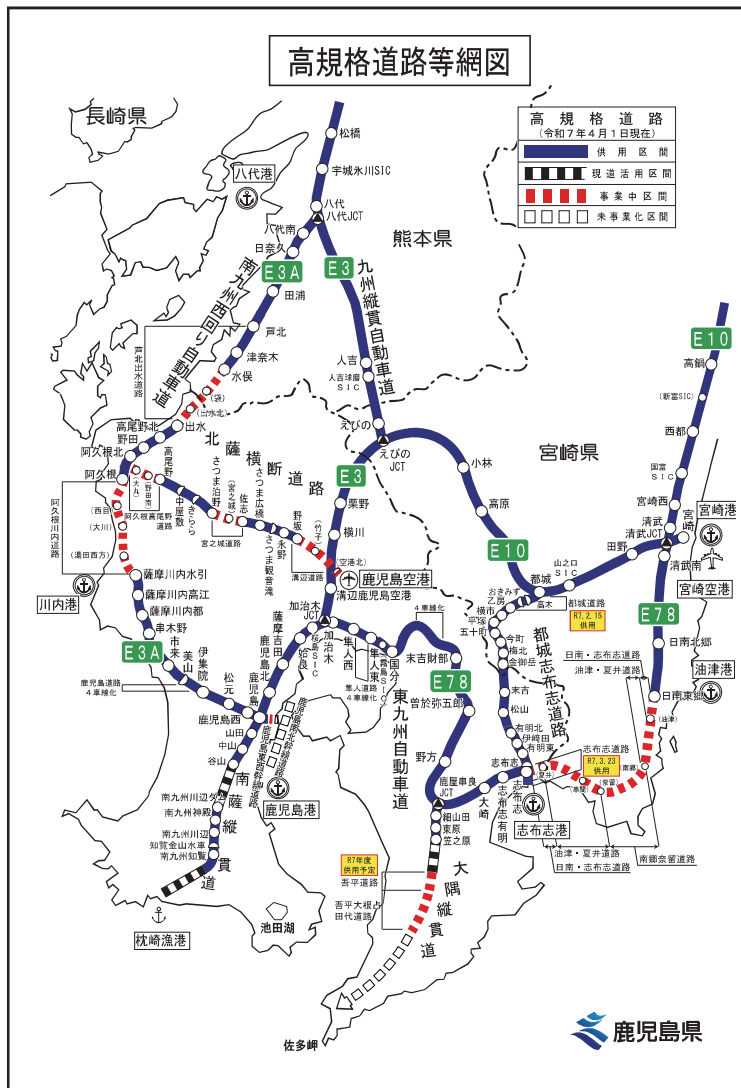
（令和7年1月末現在）

立地条件

温暖な気候の下、南北約600kmにわたる広大な県土は、多様で豊かな自然環境に恵まれています。

アジアの時代を迎えた今日、南に開かれている本県は、大きな地勢上のメリットを有しており、今後、アジアの玄関口として大きな飛躍の可能性を秘めています。

また、“南の拠点かごしま”を実現するため、高規格道路をはじめとする広域的な幹線道路ネットワークを形成するとともに、主要な空港・港湾等の広域的交通拠点への連結強化を進めています。



九州縦貫自動車道利用

鹿児島IC

距離	所要時間
福岡IC 約275km	約3時間10分
熊本IC 約175km	約2時間10分
宮崎IC 約150km	約1時間50分
清辺鹿児島空港IC 約35km	約30分

南九州西回り自動車道利用

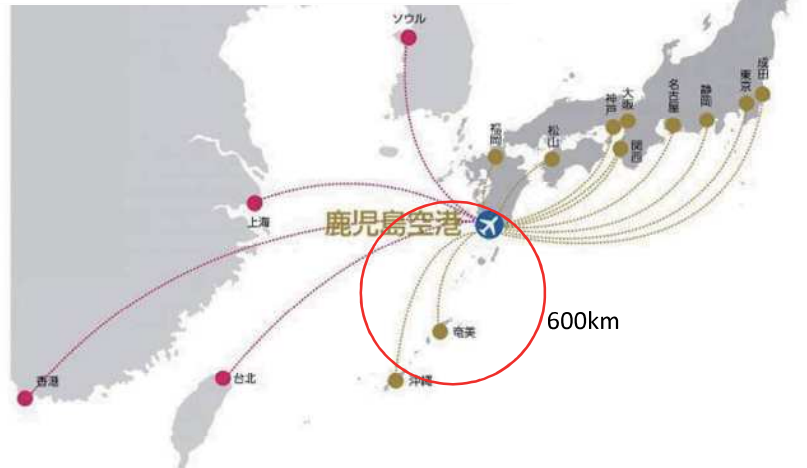
水産引川IC

距離	所要時間
鹿児島IC 約45km	約40分
八代IC 約100km	約1時間50分

東九州自動車道利用

志布志IC

距離	所要時間
鹿児島IC 約110km	約1時間30分



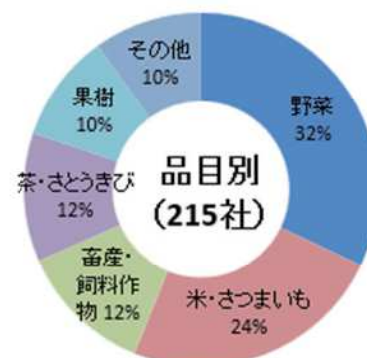
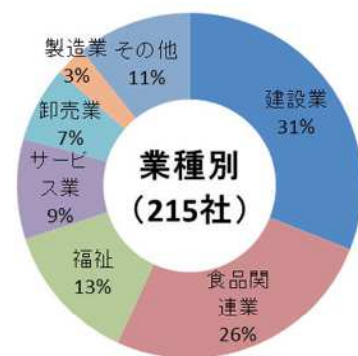
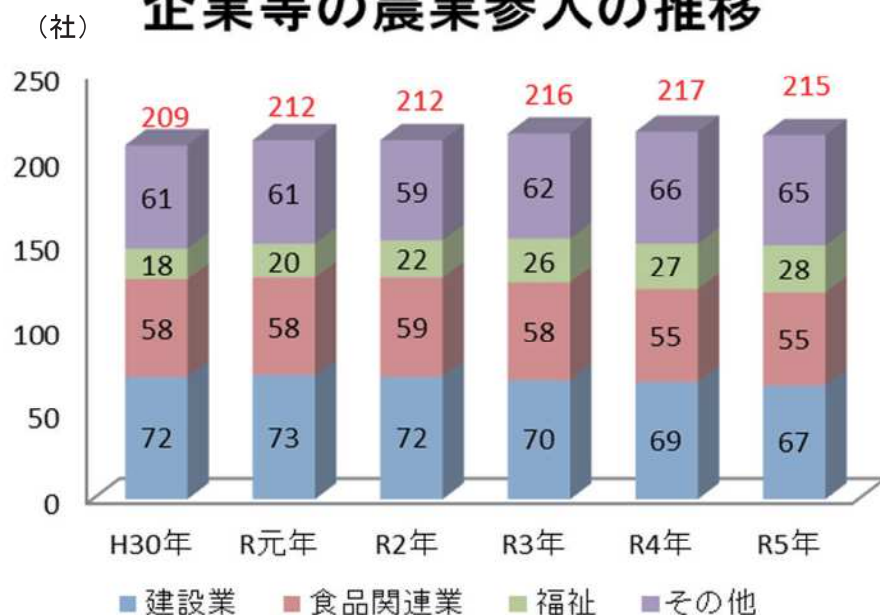
企業等の農業参入の状況

農業に参入している企業等は、令和5年12月末時点では、前年に比べて2社減少の215社となっています。（県経営技術課調べ）

業種別では、建設業、食品関連業、福祉の順に多く、品目別では、野菜、米・さつまいも、畜産・飼料作物の順に多い状況です。

また、市町村ごとの参入数は、薩摩川内市、鹿屋市、霧島市、南九州市の順に多い状況となっています。

企業等の農業参入の推移



市町村ごとの参入数

